

## ポリマーサイエンス研究分野

ポリマーサイエンス研究分野に含まれる高分子科学研究会と高分子薄膜・表面研究会は、この2年間、非常に活発な研究会活動を行ってきた。各々の研究会主催の講演会や学習会にとどまらず、ポリマーサイエンスに共通した様々な課題を、時には小角散乱研究会なども、交えて熱心に議論を行ってきた。また、高分子討論会での特定テーマとして放射光関連セッションを設定する、あるいは高分子学会発行の国際誌から「量子ビーム関連研究特集号」を2ヶ月に亘って刊行していただくなど、内外組織との協力体制作りも極めて積極的に活発に行ってきた。さらには、放射光利用による高分子科学の国際会議を全面的に支援するとともに、海外の放射光施設の研究者たちとの研究交流も非常に活発に行っており、高分子関連研究の遂行における SPring-8 の有用性を世界中に認識してもらい上でも2研究会の果たしてきた役割は大きい。この分野の特徴は、研究会に所属するメンバーは産学官の広い範囲に及んでおり、高分子科学技術に対する共通意識が非常に強い点である。そのことが、SPring-8における新ビームライン「フロンティアソフトマター開発産学連合ビームライン」の立ち上げという、この2年間のポリマーサイエンス分野の研究活動の最大成果に結実したと思われる。このビームラインを世界のポリマーサイエンスにおける中心的存在に引き上げる上で、高分子関連の2研究会の使命は更に重要なものになると期待している。